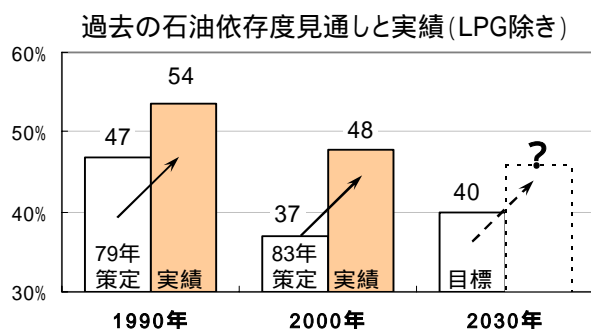
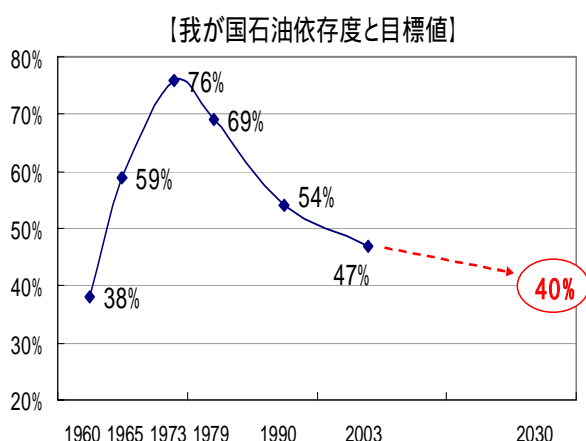


エネルギーにおける石油の位置付けについて

新・国家エネルギー戦略における5つの数値目標(2030年時点)

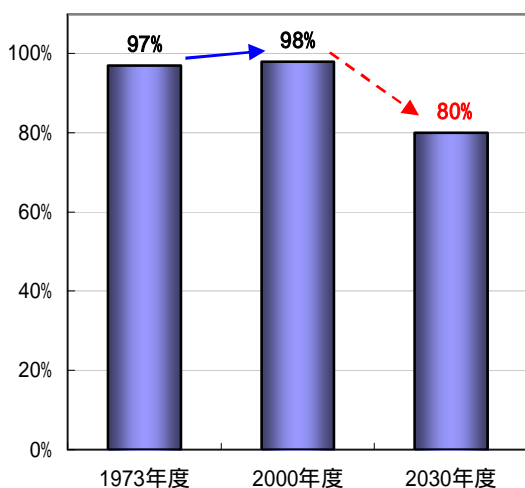
分野	目標
省エネルギー	エネルギー効率を現状比30%改善
石油依存度	一次エネルギー供給に占める割合を40%以下に
運輸部門の石油依存度	現状のほぼ100%を80%に
原子力発電	電源構成に占める割合を30~40%以上に
海外資源開発	自主開発原油比率を現状の15%から40%に

一次エネルギー供給に占める石油依存度



- ・これまで長期エネルギー需給見通しにおける石油依存度は、実績値が目標値を上回ってきた
- ・実現可能性を踏まえ、明確な需給見通しを策定すべき

運輸部門における石油依存度の低減目標



- ・運輸部門における石油代替エネルギーの導入は、「供給安定性」「環境特性」「経済性」の“3E”の観点による実現可能性を踏まえ、目標を立てるべき
- ・IEA「World Energy Outlook 2004」では、2030年時点の輸送用エネルギーの石油依存度を95%と予測